

大船渡湾内観測結果(No.6)

“今月の話題”

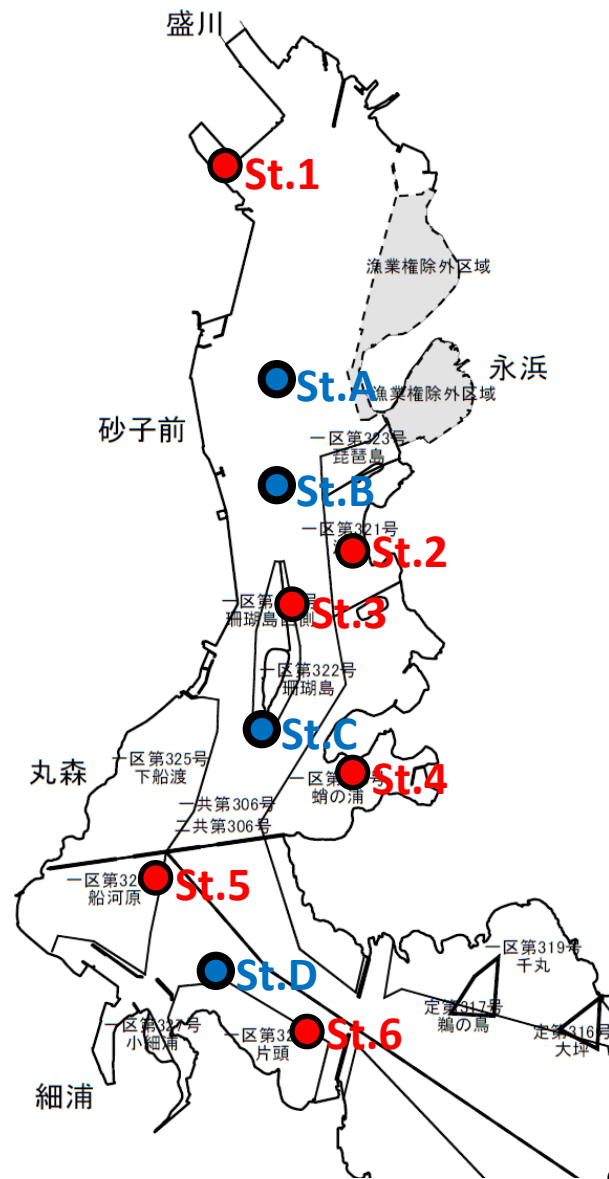
湾内の水温は14～19℃台であり、例年よりも1～3℃程低くなっています。先般発生した台風18号等の降雨の影響を受けて、表層の塩分は低く、透明度も低くなっていました。

9月21日に行った大船渡湾内観測結果をお知らせします。

透明度は1.5～3.5mであり、平成18年度から平成28年度の平均値と比べて、-7.2～-2.5mの範囲内でした。

水温は水深2.5mが19.3～20.1℃、水深10mが17.7～18.1℃でした。平成18年度から平成28年度の平均値と比べて、水深2.5mが-2.3～-1.1℃、水深10mが-3.0～-2.5℃の範囲内でした。

海域名:大船渡湾 調査担当:水産技術センター、大船渡市		1	2	3	4	5	6
観測点(St.)		1	2	3	4	5	6
観測年月日		平成29年9月21日					
観測時刻		11:25	11:42	11:07	10:51	10:36	10:22
天候		曇					
気温(°C)		22.5					
風向		NW					
風力		1					
水深(m)		8.8	24.0	27.4	18.5	26.1	38.0
透明度(m)		1.5	1.5	2.5	3.5	2.5	3.5
水色		14	12	8	8	8	7
水温(°C)	表層0m	19.7	19.1	18.2	19.8	19.0	19.3
	水深2.5m	19.3	19.7	19.5	20.1	19.4	19.4
	水深10m	-	18.0	17.8	17.7	18.0	18.1
	海底上1m	18.3	16.1	16.0	16.8	15.9	14.6
塩分	表層0m	12.3	5.1	4.7	6.3	7.1	7.5
	水深2.5m	32.4	32.2	31.9	31.8	32.2	32.1
	水深10m	-	33.5	33.5	33.5	33.5	33.4
	海底上1m	33.4	33.7	33.8	33.7	33.7	33.8
溶存酸素飽和度(%)	表層0m	78.5	101.4	97.8	99.8	99.4	98.6
	水深2.5m	72.6	83.6	88.4	79.4	88.9	90.2
	水深10m	-	64.5	63.7	78.0	98.1	90.7
	海底上1m	39.5	63.4	72.9	62.4	87.4	89.2
クロロフィル(Chl-Flu.(ppb)) ※観測機器の測定値	表層0m	3.0	1.7	1.0	1.3	1.3	1.4
	水深2.5m	2.8	1.2	2.8	1.0	1.2	1.8
	水深10m	-	1.5	1.0	1.1	1.5	1.3
	海底上1m	1.2	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5



©岩手県（漁業権連絡図）

図1 大船渡湾調査定点図

※St.1からSt.6において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
 St.AからSt.Dにおいて表層0mから水深10mの水質を観測した。

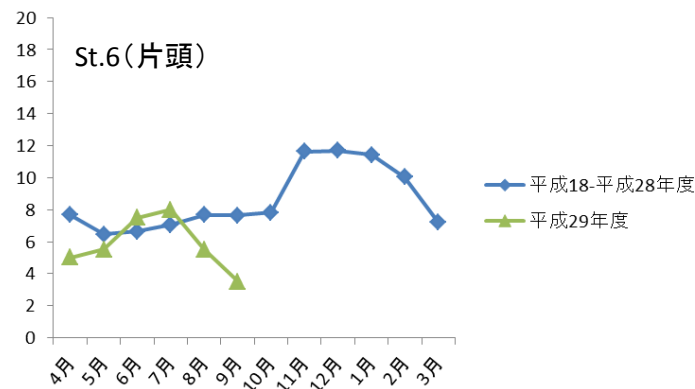
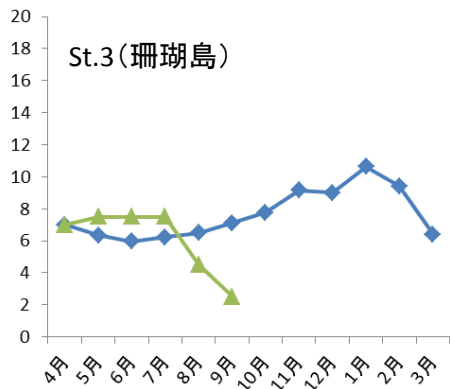
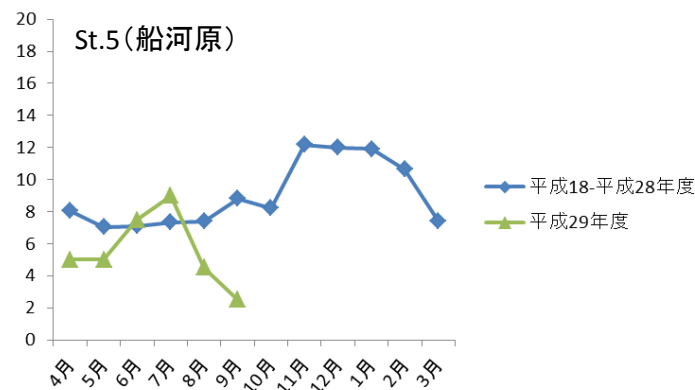
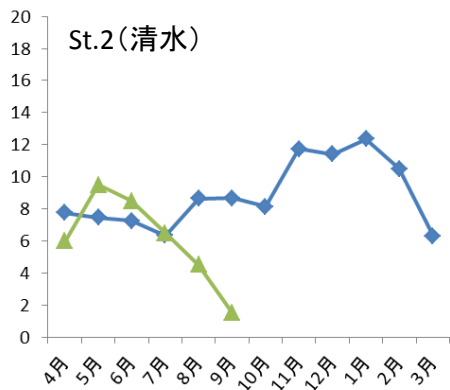
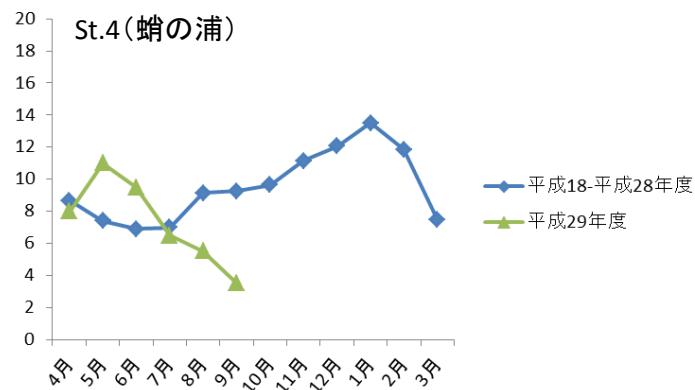
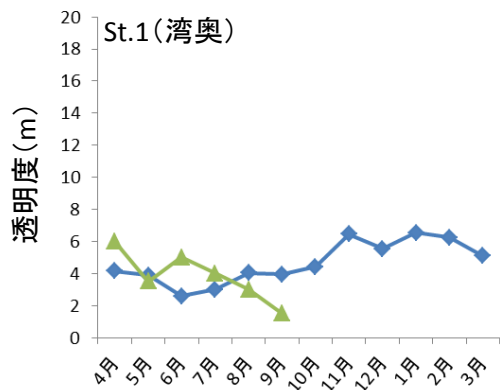


図2 透明度の推移

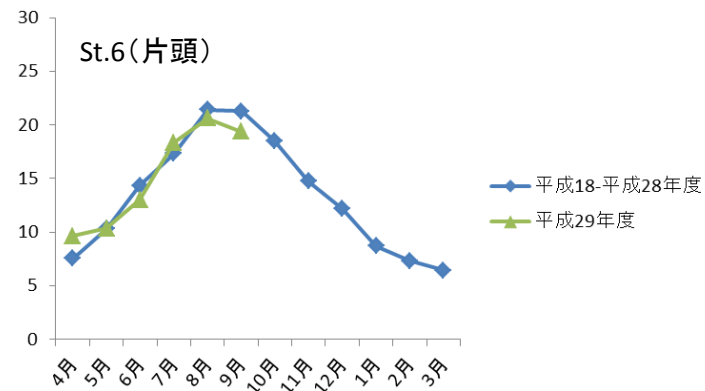
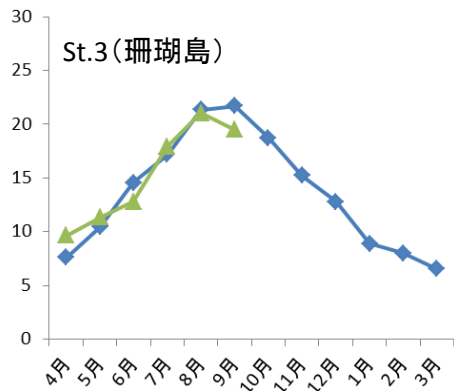
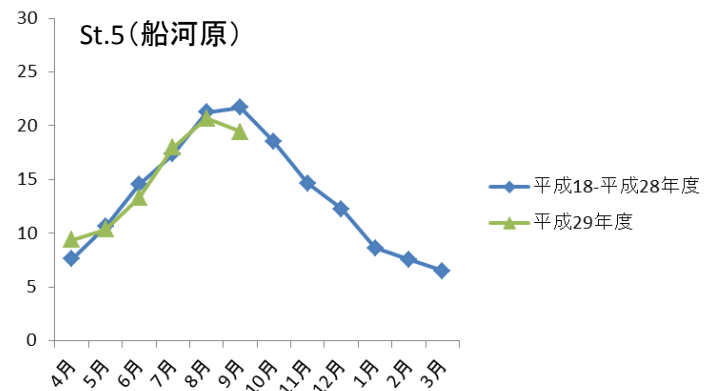
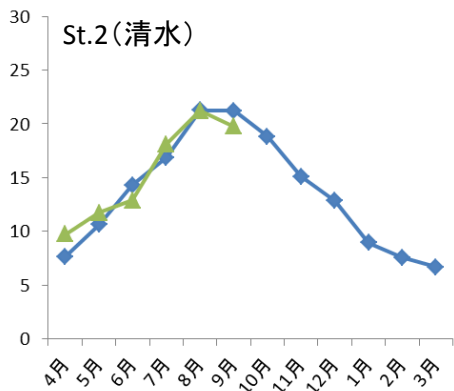
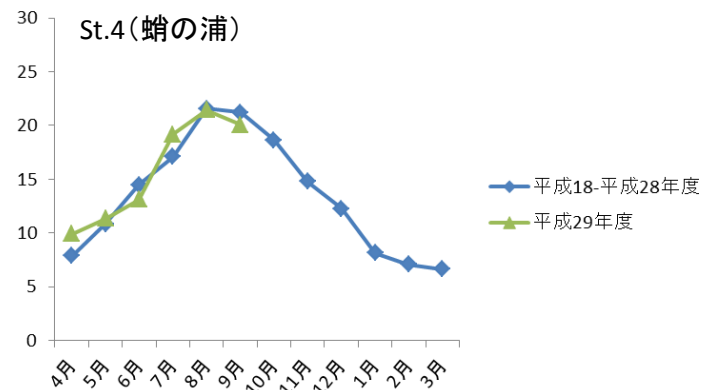
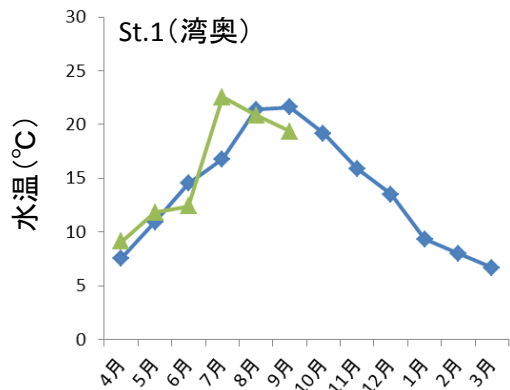


図3 水深2.5mの水温の推移

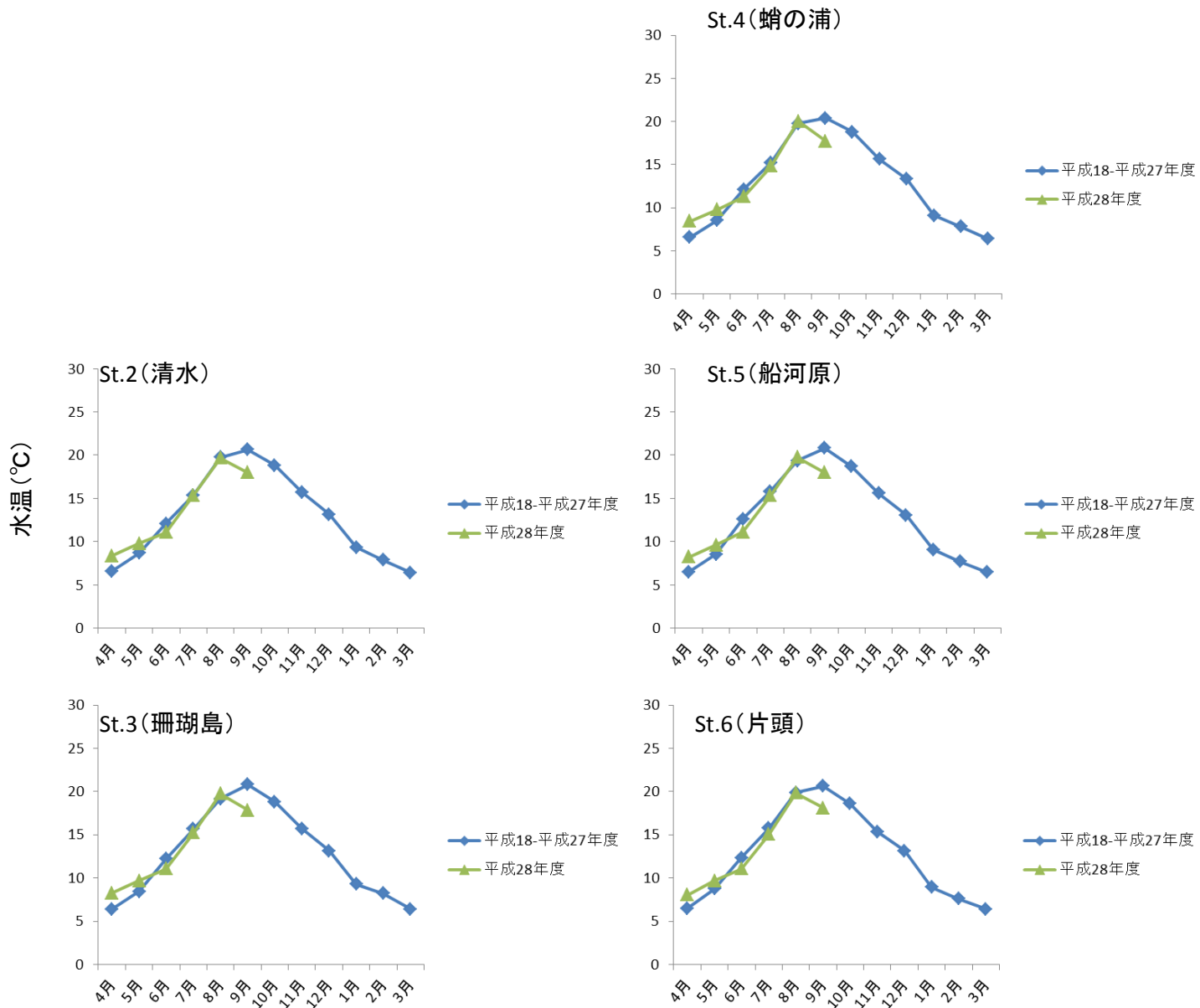
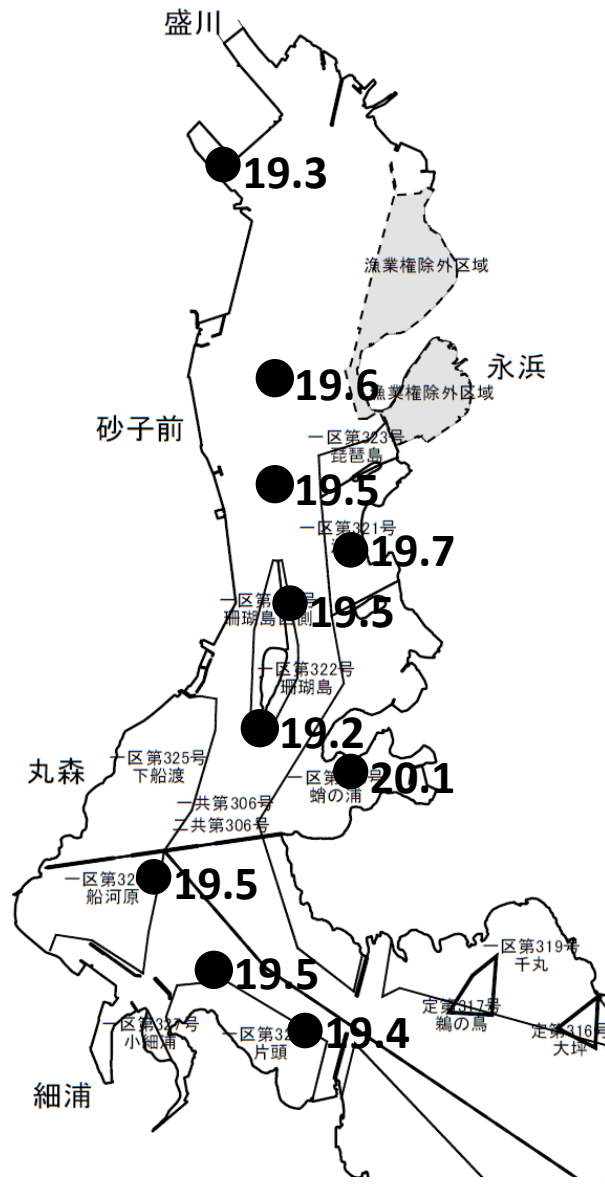


図4 水深10mの水温の推移



©岩手県（漁業権連絡図）

図5 水深2.5mの水温の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨や気温の影響を受けて湾内の水温は変化する。

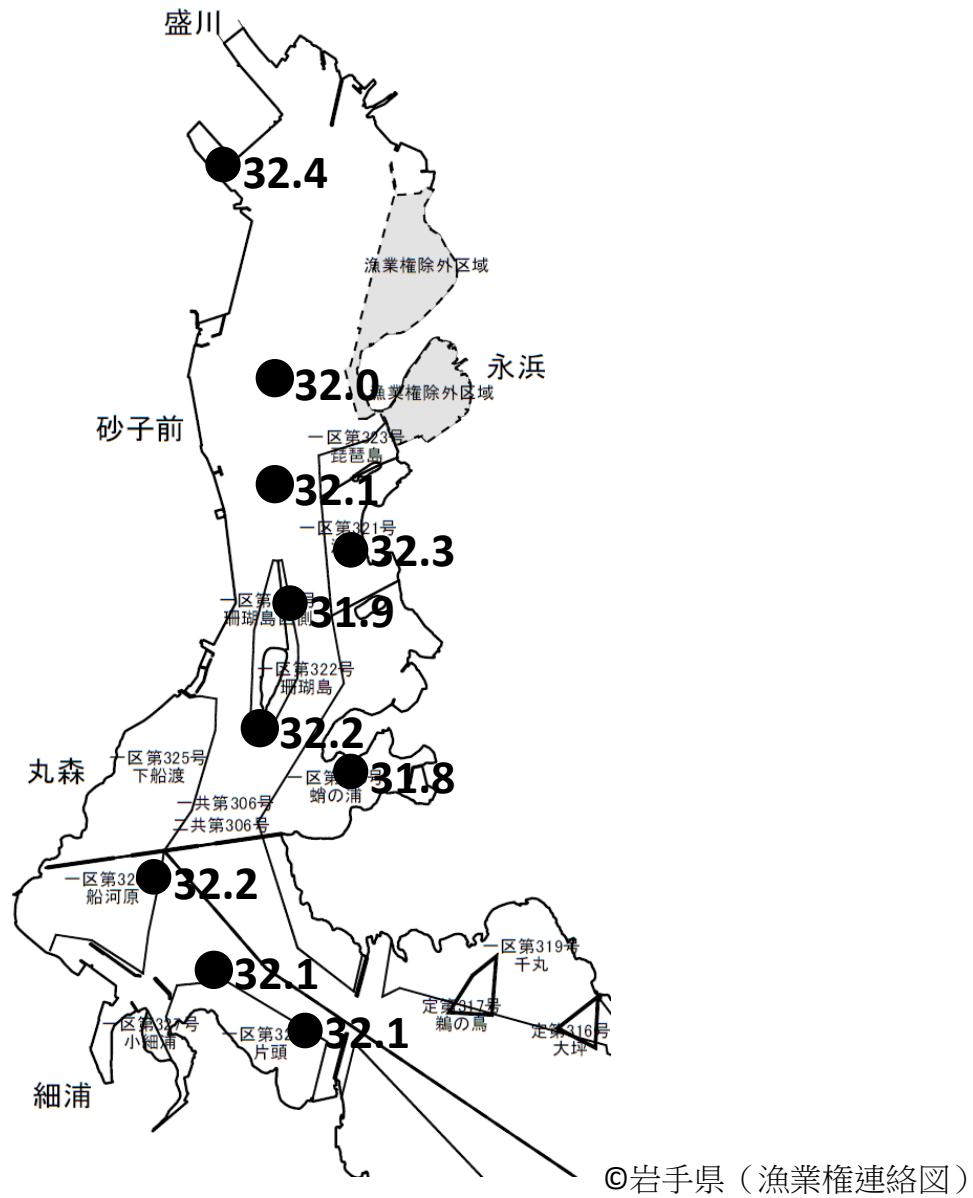


図6 水深2.5mの塩分の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨の影響を受けて湾内の塩分は変化する。

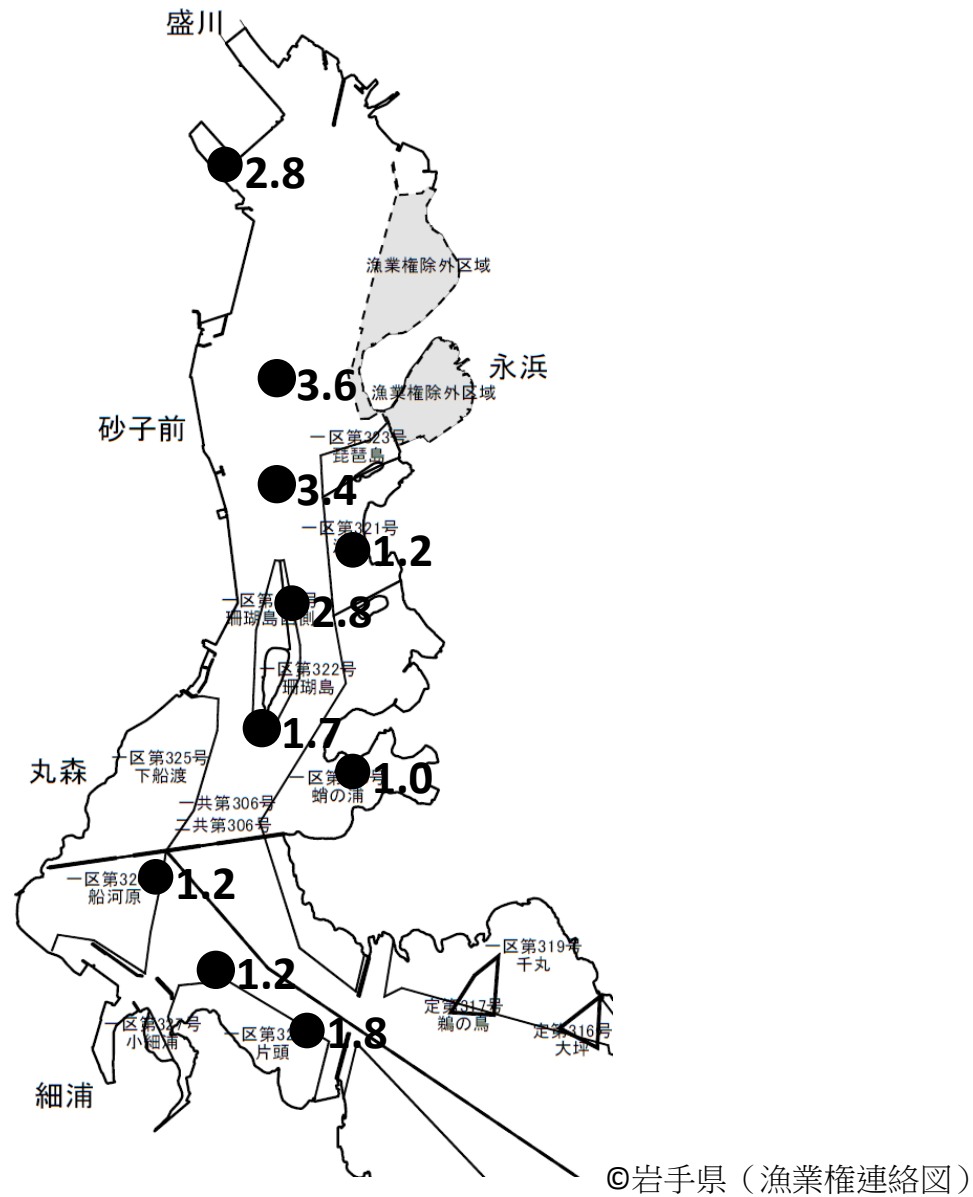


図7 水深2.5mのクロロフィルの分布

※クロロフィルは植物プランクトン量の指標であり、植物プランクトンは二枚貝やホヤ等の餌となる。